

みずほCustomer Desk Report 2016/08/05 号(As of 2016/08/04)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	101.25 AUD/USD
TKY 9:00AM	101.35	1.1150	112.97	0.9728	1.3328	0.7588
SYD-NY High	101.68	1.1157	113.24	0.9750	1.3352	0.7641
SYD-NY Low	100.86	1.1114	112.49	0.9723	1.3102	0.7584
NY 5:00 PM	101.22	1.1130	112.68	0.9740	1.3105	0.7630
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.685/11.11		△25RR	1.465	Yen Call Over	

NY DOW	18,352.05	▲ 2.95	債券市場	日本2年債	-0.1710	0.1bp
NASDAQ	5,166.25	6.51		日本10年債	-0.0780	0.5bp
S&P	2,164.25	0.46		米国2年債	0.6430	▲2.4bp
日経平均	16,254.89	171.78		米国5年債	1.0283	▲4.2bp
TOPIX	1,282.99	11.01		米国10年債	1.5008	▲4.1bp
シカゴ日経先物	16,245	150.00	為替市況	独10年債	-0.0950	▲5.7bp
ロンドンFT	6,740.16	105.76		英10年債	0.6430	▲15.9bp
DAX	10,227.86	57.65		豪10年債	1.9450	1.6bp
ハンセン指数	21,832.23	93.11		USD/CNH	6.6465	0.0029
上海総合	2,982.43	3.97		ドルインデックス	95.77	0.21
USDJPY 3M Vol	12.43	▲0.04%	商品市況	CRB指数	181.346	1.56
USDJPY 6M Vol	11.89	▲0.13%		NY金	1,367.400	2.70
EURJPY 3M Vol	12.36	0.04%		WTI	41.930	1.10
EURJPY 6M Vol	12.06	▲0.06%		Dubai Spot	39.43	0.61

東京	東京時間のドル円は101.35レベルでオープン、101円台前半での動意に乏しい推移が続いた後、前日比プラスで寄り付いた日経平均株価がマイナス圏まで沈むと、ドル円は101円を割れて一時100.86まで連れ安となった。しかし、日経平均株価が切り返し再度プラス圏まで浮上するとドル円も101円台前半を回復。その後、岩田日銀副総裁の「金融政策の緩和の程度を緩めることはあり得ない」との発言が伝わり、引き続き日銀の金融政策は緩和方向であるとの見方が強まりドル円は一時101.68まで上昇し、101.50レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は101円台前半でじり安推移となった。101.50レベルでオープンすると英中銀(BOE)の金融政策緩和発表後、米長期金利が急低下し、日米長期金利差が縮小するとドル円は続落し、101.20レベルでNYへ渡った。ポンドドルはBOEの政策緩和を受け大幅に下落する展開となった。BOEは市場コンセンサス通り政策金利を全会一致で過去最低の0.25%へ25bp引き下げた。さらに、3750億ポンドで据え置きが市場コンセンサスとなっていた資産購入プログラムについては、国債購入枠が拡大され今後6ヶ月で600億ポンド買い入れられるほか、1年半の間に最大100億ポンドの社債購入も決定された。また、民間銀行に最大1千億ポンドの低利融資の実施も決定され、総じて事前に市場が予想していたシナリオと比べより緩和的な内容となった。BOEの発表を受けポンドドルは1.33半ばかり1.31前半まで下落、その後小幅に値を戻し1.3147レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	NY時間のドル円相場は101.20レベルでオープン。朝方、米債利回りの低下に伴ってドル売りが優勢で一時101.00まで下落した。しかし、BOEの予想以上の緩和策を背景に欧州株が上昇したことや、原油が上昇していたことがドル円をサポートし、下値は限定的となった。午後に入り、明日の米雇用統計の結果待ちの雰囲気は強く全体的に小動きとなる中、ドル円は101.20付近で膠着状態となった。また、日銀の緩和政策に対する様々な思惑が市場に広がっており、日銀限界説を指摘する向きも少なくない一方で、ドル円は上値は重く101円台前半の推移が続く101.22レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.1123レベルでNYオープン、BOEが利下げのみならず資産購入枠を拡大したことや英ポンド安が強まり、ユーロドルも一時連れ安となる場面もみられたが、NY市場に入り買い戻す動きが強まり一時1.1149まで上昇した。ただ、市場の雰囲気は明日の米7月雇用統計の発表待ちで様子ムードが強く、狭いレンジでの振幅に留まり1.1130で海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山本・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月4日	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	10:30	豪 小売売上高(前月比)	6月 0.1%	0.3%
	19:15	米 カプラン・ダラス連銀総裁講演	-	-
	20:00	英 BOE政策金利/資産購入目標	-	0.25%/£435B 0.25%/£375B
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	269K 265K
	23:00	米 製造業受注指数	6月 -1.5%	-1.9%
	23:00	米 耐久財受注(確報、前月比)	6月 -3.9%	-4.0%

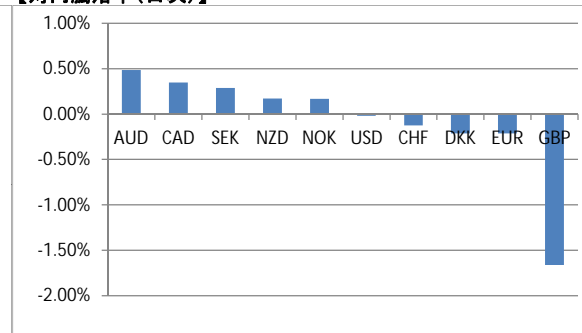
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月5日	15:00	独 製造業受注(前月比/前年比)	6月 0.5%/-1.5%	0.0%/-0.2%
	21:30	米 貿易収支	6月 -\$43.0B	-\$41.1B
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	7月 180K	287K
	21:30	米 失業率	7月 4.8%	4.9%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	7月 0.2%/2.6%	0.1%/2.6%
	21:30	加 雇用ネット変化/失業率	7月 10.0K/6.9%	-0.7K/6.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	100.90—101.70	1.1100—1.1200	112.40—113.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外市場のドル円相場は軟調推移した。東京時間に上値の重さを確認すると、欧州時間入り後も売り優勢の展開。米6月製造業受注指数や同耐久財受注(前月比)は事前予想を小幅に上回るも反応は限定的、ドル円はポンド円の急落や米債利回り低下を受けて一時、101.00円まで下落した。もっとも、翌日に米雇用統計を控えては一段と売り進められずに下げ止まった。その他通貨では、BOE(英中央銀行)が「政策金利を0.25%引き下げ、資産買取プログラムの規模を600億ポンド増額、100億ポンドの社債買い入れ」といった大規模な追加緩和策の発表後、ポンドドルが1.33台前半から1.31台前半まで急落した。本日は米雇用統計発表までは様子見ムードの強い展開が予想される。事前予想を大幅に上回る強い数字に米金利上昇、年内の米利上げ織り込みが進むような展開になれば別だが、本邦経済対策への期待感が剥落している以上、ドル円については下値リスクの方が高いと考える。